

論文奨励賞受賞に際して

三菱化学産資株式会社 間 昭 徳

論文「防護柵に作用する水平荷重がジオグリッド急勾配補強土壁に与える影響調査」に対して、国際ジオシンセティックス学会日本支部から2001年度JC-IGS論文奨励賞を賜り、身に余る光栄と存じます。学会関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

現在ジオグリッド補強土壁は急速に普及し、年々実績も多くなっています。それとともに現場における問題点、疑問点なども多くなっています。

本研究は、こうした現場からの問題点などに答えていくために行われました。防護柵支柱が挙動したときの土中のジオグリッド状況、ジオグリッド補強土壁の状況など多くの質問を受けました。本研究で、ジオグリッド自体への影響は少ないことが確認されました。

これらの点が未解明であったため、ジオグリッドで計画されていた現場が他の工法に変更になったというケースは少なくありません。

次のステップとしては、数値解析などにより、破壊のメカニズムなどを解明していきたく思います。

今後もこのような現場における問題点、疑問点などを解明し、さらなるジオグリッド（ジオシンセティックス）の普及につなげていくような研究を行っていきたく思います。

最後になりましたが本研究を行うにあたり、貴重なご助言、多大なご支援を頂いた、福井大学工学部建築建設工学科教授 荒井克彦先生、また40℃を越える炎天下のなか現場実験に携わっていただいた多くの関係者の方々にこの場お借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

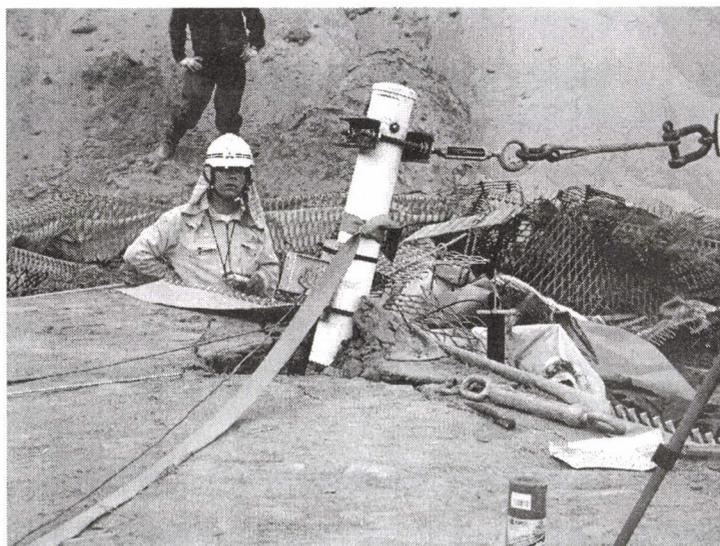


写真 ジオグリッド（センサー）補強土壁 防護柵支柱静的載荷状況